

平成25年度 第3回男女共同参画審議会概要

- 1 日 時 平成26年1月30日（木）
午後3時00分～5時00分
- 2 場 所 庁議室
- 3 出席者 西山委員 大村委員 岡田委員 染谷委員
中村委員 横山委員 青木委員 柏木委員
萩原委員 廣田委員 山田委員
欠席者 大塚委員 田中委員
事務局 水代総合政策部長
山田企画政策課長
矢口男女共同参画室長
小谷
記録 田上
傍聴者 なし
- 4 議 題
 - (1) 第2次男女共同参画プランの答申（案）について
 - (2) 第3次男女共同参画プランの骨格（案）について
 - (3) その他
- 5 内 容

（山田企画政策課長）

本日はお忙しい中、第3回流山市男女共同参画審議会にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。開会に先立ちまして総合政策部長の水代から挨拶を申し上げます。

（総合政策部長）

本日はお忙しい中、男女共同参画審議会にご出席いただきありがとうございます。

昨年11月に、流山市第2次男女共同参画プランのうち、平成24年度実施事業について各部局が評価したものについて、審議

会委員の皆様からご意見をいただきました。そのご意見をまとめたものを答申案のイメージという形で、事務局から1月に送付させていただきました。さらに、第3次プランの骨格となる「基本理念」「基本目標」について事務局で案を作成し、お示ししたところです。

新年度になりますと、答申案、答申、プランの策定と短期間で処理をしていかななくてはならないスケジュールになると思います。皆様にはメールや郵送等でご連絡をし、意見をいただくこともあると思います。

本日は2件の議題がございます。答申案についてとプランの骨格についてです。御審議のほどよろしくお願いいたします。

(山田企画政策課長)

それでは、これからの議事進行につきましては、流山市附属機関に関する条例の規定に基づきまして、西山会長にお願いします。

(西山会長)

本日はお忙しいところお集まりいただきまして、ありがとうございます。第3回の流山市男女共同参画審議会を始めさせていただきます。まず、本日、委員13名中2名欠席で11名出席されていますので、本会議は成立していることをご報告いたします。

なお、傍聴の方はいらっしゃいません。

では進めさせていただきます。配布資料について事務局より説明をお願いします。

(矢口男女共同参画室長)

配布資料の説明

(西山会長)

ありがとうございます。答申案について事務局に用意していただいておりますが、これは皆さんが提出された意見を基に作られています。この案につきまして総論から討議していきたいと思っております。プロジェクターを用いて、言葉を確認し訂正しながら進めていきたいと思っております。では、事務局、総論の説明をお願いします。

(矢口男女共同参画室長)

総論部分の説明、読み上げ

(西山会長)

では、総論の1行目から3行目まで「流山市第2次男女共同参画プランは、・・・・推進されています。」ここはいかがですか。「プランの具体的な成果目標を達成するため推進されています。」ここについて違和感はありませんか。

(大村副会長)

おっしゃっているのは、プランは推進されているという対応がどうかということですね。

(西山会長)

私はちょっと引かかっています。平成22年度から5年間のプランで、男女共同参画社会の実現に向けて推進を図っています、というようなことですよね。その間に、具体的な成果目標を達成するためにこのプランが用いられているということですよ。

(青木委員)

目標を達成するために推進するのは当然のことなので、その一文がなくても文意は伝わるのではないのでしょうか。

(西山会長)

そうですね。「推進されています」という言葉についてはどうでしょうか。

(大村副会長)

資料3の「男女共同参画プランの考え方」の主旨の始めの部分を見ますと、「流山市男女共同参画プランは・・・・推進するために策定し」とあります。私は、この方が表現として自然なのかなと思います。それから、「具体的な成果目標」というのは、男女共同参画社会を実現することが目的だと思いますが、それに介して考えると「具体的な成果目標」というのは、手段であり、成果目標のためにプランがあるような。逆なのではないのでしょうか。プランのために成果目標があるのではないのでしょうか。ですから、「プランの・・・・達成するため」を取って見たらどうでしょうか。

「具体的な成果目標」と言うのは分けて書いてもいいのかもしれませんが。

(西山会長)

ここでは、「第2次プランが22年から5年間のプランである」

ということと「男女共同参画社会の実現に向けて策定されたプランである」ということと「そのプランは、具体的な成果目標を定めて推進しているプランである」ということを言いたいのだと思いますが。それが一文の中に「中」にごちゃごちゃと入っているので、紛らわしいですね。

（大村副会長）

2行目の「男女共同参画プランの実現に向けて」のあとに、「策定し」と入れたらどうでしょうか。

（西山会長）

そうですね。しかし市民側の答申なので「策定され」がいいですね。

（大村副会長）

ここで、一旦切れて分けることができますね。

（西山会長）

「流山市第2次男女共同参画プランは、平成22年度から5年間のプランで男女共同参画社会の実現に向けて策定されています。そして、そのプランは具体的な成果目標を定めています。」というのだけでいいのではないのでしょうか。そして、「個々の施策では、評価の基準が定めにくい事項もありますが、プラン全体としてはおおむね一定の成果があったといえます。」と繋げる方がいいのではないのでしょうか。いかがですか。

（青木委員）

資料を見ると22年度の時は「である調」ですが。

（西山会長）

「である調」の方が断言的で簡潔になりますが、皆さんいかがですか。

（青木委員）

私は、どちらでもいいと思いますが、他の審議会ではどうなっていますか。ルールはあるのですか。

（山田企画政策課長）

「である調」であるとか「ですます調」であるとか、特にこだわってはいません。読んだ感じとしては、「ですます調」の方がやわらかくていいのではないのでしょうか。

(西山会長)

「である調」は簡潔ですが、少し強い印象がありますね。皆さんいかがですか。

(染谷委員)

「ですます調」の方が丁寧でいいと思います。

(西山会長)

皆さん同じ意見のようですので、文体は、このまま「ですます調」にします。

それでは、戻りますが「個々の施策では・・・定めにくい事項もあります」はいかがですか。意識啓発と評価の基準を定めにくいという事柄を理解するということが盛り込まれています。よろしいですか。

(大村副会長)

評価の基準を定めにくいということをここに書いてある理由は、その後の「一定の成果があった」という前置きですね。

(西山会長)

そうですね。前置きです。全体として考えたらおおむね成果があったとは言えるけれど、成果があったとも断定しづらいような事項も含まれているので、「おおむね一定の成果があった」ということです。これは皆様方のご意見を受けてこのような文言が盛り込まれています。

(青木委員)

通して読んだ時に日本語的な繋がりが気になります。

(大村副会長)

「策定されており」の後に句読点を付けたらどうでしょうか。

(青木委員)

では、「プランが」ではなく「プランは」にしたらどうでしょうか。

(西山会長)

確かに「は」に変えたらいいかもしれません。「・・・策定されており、そのプランは、具体的な成果目標を定めています。」としたらどうでしょうか。

(青木委員)

「そして」を消すといいのではないのでしょうか。

(西山会長)

そうですね。

(廣田委員)

もともとこの3行では、このプランはこういうプランなので、よ、ということではなくて、そのプランを実行してきましたということと言いたかったのではないのでしょうか。「推進されています」というのは、全体的な5年間きちんとやってきていますねというのを言いたいのではないかと思います。

(西山会長)

そうすると、「平成22年度から5年間のプランで推進されており」でしょうか。

(廣田委員)

そうすると「プラン」という言葉が3つも入りますが。

(西山会長)

「流山市男女共同参画プランは、平成22年度から5年間で男女共同参画社会の実現に向けて推進されており」

(青木委員)

5年間とした方がいいのですか。

(山田委員)

やはり5年間を入れた方がいいのですね。

(西山会長)

策定しますという事実をそのままなぞるよりは、実際にプランは推進されております、とした方がいいというのが、廣田委員のご意見ですが。

(廣田委員)

最初の3行をそのまま前後入れ替えると意味が通じるのかなと思いますが、「この男女共同参画プランは、平成22年度から5年間、具体的な成果目標を達成するため男女共同参画社会の実現に向けて推進されています。」ではどうでしょうか。「達成するため」というのが気になるのですが。

(西山会長)

やはり「目標を達成するため」と入れるとおかしいですね。で

は、「流山市第2次男女共同参画プランは、平成22年度から5年間、男女共同参画社会の実現に向けて、具体的な成果目標を定めて推進されております。個々の施策では評価の基準を定めにくい事項もありますが、プラン全体としてはおおむね一定の成果があったといえます。今後は各課が更に連携強化に努め、流山市としての独自性や先進性を持った取り組みを一層進めていただくことを求めます。」最後の言葉は皆さんからの意見をそのまま使っております。では、総論の部分はこれでいかがでしょうか。

(柏木委員)

「今後は各課が更に連携強化に努め」というところをもっと強めたいのですが。市民だけでなく職員の方の意識改革というところに触れたのだと思いますが。各課だけでなく関係機関とか。

(西山会長)

そうすると、「今後は庁内をはじめ関係機関でも更に」という意味合いですね。「今後は更に庁内をはじめ関係機関や市民との連携強化に更に進め」ではいかがでしょうか。

(青木委員)

「今後は更に」というよりは、「更なる連携強化」にした方が日本語としてきれいではないでしょうか。

(西山会長)

そうですね。「今後は庁内をはじめ関係機関や市民との更なる連携強化に努め、流山市としての独自性や先進性を持った取り組みを一層進めていただくことを求めます。」ではどうでしょうか。

では、各論に入ります。事務局説明をお願いします。

(矢口男女共同参画室長)

各論(1)基本目標Iの読み上げ

(西山会長)

「男女共同参画推進のための意識改革」という非常に大きなところですね。ここについていかがですか。まず講演会、講座、研修会を実施している。学校における男女平等教育や学習の推進にも努めている、という事実は認めます。しかし、まちづくり達成度アンケートによると、男女の性別役割分担意識についての結果では「男性は仕事、女性家事育児という分担にすることがよい」が

14%あり、2次プランの目標値に達していません。引き続き意識改革の施策の推進を求めます、ということです。

とにかく、いろいろ努めていますがまだ目標値には達していません。引き続き推進を求めます、ということです。2次プランの目標値は何パーセントですか。

(矢口男女共同参画室長)

低くなっていくというのが目標なのですが、12%です。

(西山会長)

12%になることが目標なのだけれど、14%だったということです。「学校における男女平等教育や学習」の学習というのは、男女共同参画に関する学習という意味ですか。

(矢口男女共同参画室長)

学校だと男女平等の学習です。

(大村副会長)

男女平等教育や男女平等学習、ということによろしいですか。

(西山会長)

「講演会、講座、研修会」というのは学習ですよ。ですから、後ろの「学習」というのは、学校におけるにかかっていますか？

(矢口男女共同参画室長)

「学校における」は、男女平等教育にかかっています。

(西山会長)

では、「や」でつないでいる「学習」というのは。

(大村副会長)

特別に意味がないのであれば、削除してもいいのでは。

(西山会長)

2次プランの計画に何かあるのでしょうか。

(矢口男女共同参画室長)

2次プランの13ページの施策の方向には「家庭や地域における男女平等教育・学習の推進」となっているので。

(西山会長)

ではむしろ、「学校における男女平等教育、家庭や地域における学習の推進に努めている」と、そのままプランを受けた言葉を入れた方がいいのではないのでしょうか。端折るとわかりにくいので。

で「学校における男女平等教育、家庭や地域における学習の推進に努めているものの」でしょうか。プランでは、男女共同参画の視点に立った家庭教育に関する講座を公民館で行っていますね。

(山田委員)

市で行っている学習のことですね。

(西山会長)

前の「講演会・学習」というのが「学習」を網羅しているように捉えると、後ろの「学習」とはどう違うのか紛らわしく思えます。

(矢口男女共同参画室長)

前半に、意味的には「学習」が含まれていると取れるということですね。

(西山会長)

各地域センターであれ、市民活動推進センターであれ、公民館であれ、男女共同参画に関する講演会、講座、研修会を実施し、学校では男女平等教育に努めている、と前半は社会教育で、後半は学校教育と捉えれば比較的わかるのですが、「学習」が入ると。「男女共同参画に関する講演会、講座、研修会を実施し、学校においては男女平等教育の推進に努めているものの」ではどうでしょうか。皆様いかがですか。

(大村副会長)

男女共同と男女平等は並列でいいのでしょうか。

(西山会長)

学校教育の場合は、「男女共同参画」という言い方ではなく「男女平等教育」というのが一定の理解を得ていますので。

(大村副会長)

1行目は「男女共同参画」ですね。

(西山会長)

施策や政策上では、「男女共同参画に関する講演会、講座」となると思います。

(大村副会長)

そういう表現が使われてきているということであれば。

(廣田委員)

後半部分の「努めているものの」の後なのですが、具体的にまちづくり達成度アンケートでは14%などと言われても普通の人はピンと来ないかなと思います。それは何を言いたいのかというと、指標にある「男は仕事、女は家事育児」という固定的な見方をしている人の割合が14%いるということを言いたいのかなと思います。具体的なまちづくりアンケートを載せるのではなくて、指標を入れた方がいいと思います。それから、目標値は何パーセントというのが入っていないと、それに対して14%というのが響いてこないと思います。

(西山会長)

そうすると、前段に「男女平等教育の推進に努めているものの、固定的な性別役割分担意識はなお根強く、まちづくり達成度アンケートの「男女の役割分担意識について」の結果では、「男性は仕事、女性は家事育児という分担にすることがよい」が14%あり、12%を目指している2次プランの12%の目標値に達していません。」ではいかがでしょうか。

(廣田委員)

そのアンケートの具体的な名前は必要ですか。指標名でいいのではないですか。

(西山会長)

このプランの指標名はどうなっていますか。

(矢口男女共同参画室長)

指標名は、「男は仕事、女は家事育児」という固定的な見方をしている人の割合。

(西山会長)

そうすると、まちづくり達成度アンケートではなく、今の指標名を使うということですね。

(青木委員)

やはり、アンケートでこうなると入れないと、根拠が。まちづくり達成度アンケートの次に指標名を入れたらいかがでしょうか。

(大村副会長)

具体的な資料としてはアンケートを出す必要があって、むしろ誰がいつやったかを載せた方がいいのではないですか。流山市が

何年何月に行ったぐらいは入れた方がいいのではないのでしょうか。

(山田企画政策課長)

これは毎年実施しています。

(大村副会長)

この14%のは何年度ですか。

(矢口男女共同参画室長)

24年度です。

(大村副会長)

どこかに入れた方がいいですね。

(西山会長)

私も同じ意見です。正式にいつ実施したのか年度等を入れるべきだと思います。

(矢口男女共同参画室長)

わかりました。

(西山会長)

「流山市が平成24年12月に実施したまちづくり達成度アンケートでは、「男性は仕事、女性は家事育児という分担にすることがよい」という回答が14%あり、2次プランの12%目標値に達していません。」これでいかがでしょうか。

(大村副会長)

まちづくり達成度アンケートというのが正確な名称なら、カッコを付けた方がいいですね。

(青木委員)

「男性は仕事、女性は家事育児という分担にすることがよい」というのはアンケートの設問ですが、指標は違う表現なのですよね。

(西山会長)

そうすると、正式な指標名を入れた方がいいですか。

(矢口男女共同参画室長)

2次プランの指標は「「男は仕事、女は家事育児」という固定的な見方をしている人の割合」です。

(青木委員)

「目標値12%に達していません」とした方がいいのではない

でしょうか。

(西山会長)

もう一度上から読みます。「男女共同参画に関する講演会、講座、研修会を実施し、学校においては男女平等教育に努めているものの、固定的な役割分担意識はなお根強く、流山市が平成24年12月に実施した「まちづくり達成度アンケート」の結果では、「男性は仕事、女性家事育児という分担にするのがよい」という回答が14%あり、2次プランの指標「『男は仕事、女は家事育児』という固定的な見方をしている人の割合」は、目標値12%に達していません。引き続き、意識改革の施策の推進を求めます。」これでいいでしょうか。

(青木委員)

「達していません」だと12%いなくてはいけないニュアンスがあるような気がします。12%以下であることが望ましい訳ですから。

(大村副会長)

感覚的に「12%に達していません」というと、今は9か10ぐらいのようですね。

(西山会長)

では「目標値12%以下になっていません。」でいかがでしょうか。

では、次(2)にいけます。事務局お願いします。

(矢口男女共同参画室長)

(2)基本目標Ⅱ「政策・方針決定過程への参画」読み上げ

(西山会長)

まず、審議会の女性委員の登用率の目標値は4割ですね。4割なのに未だ3割に届いていないということは、現実には3割に届いていないということですか。

(矢口男女共同参画室長)

はい、そうです。28%です。

(青木委員)

先ほどは、割ではなく%でした。

(西山会長)

40%の方がいいですね。「40%を目指していますが、未だ30%にも届いていません。」でしょうか。いかがですか。「公募枠の拡大及び広報等により・・・求めます。」はこれでいいですか。では、「地域活動においても女性の意見が施策に反映されることが重要です。」ここはどうですか。これは2次プランでは、「地域活動における女性の参画の促進」ですよ。「施策に反映される」はちょっとおかしいですね。「女性の参画の促進が重要です。」でしょうか。

(青木委員)

参画しても意見を聞いてもらえない場合があるのでは。

(西山会長)

参加と違い、参画は意思決定の場に加わるという意味です。

(大村副会長)

2次プランには、男女共同参画についての用語解説はされていますか。男女共同参画の定義において女性の意見が反映されるとははっきりと書いてあればわかってもらえると思いますが。

(矢口男女共同参画室長)

後ろに、基本法や用語解説などを載せています。

(西山会長)

この後に、「地域活動においても女性の意見が・・・地域団体に女性の拡充など・・・求めます」と載っているので、「参画の促進」はその意味合いを含むとわかると思います。

(大村副会長)

それを前提で読むということですね。わかりました。

(柏木委員)

「地域活動においても」というところですが、そうするとこれは基本目標Ⅲの「家庭・地域・職場における男女共同参画」に入るのではないですか。

(西山会長)

プラン上で言うと、基本目標Ⅱの「政策・方針決定過程への参画」の目標に入っているので、場所としては合っていると思いますが。少し弱いというのであれば、女性の参画の前に「意思決定過程への参画の促進が重要です」と念を入れるのも手ですが。

(柏木委員)

「企画・立案の場」という言葉も考えたのですが。

(西山会長)

「方針・決定過程の場」でいいと思います。「地域活動においても女性の方針・決定過程への参画の促進が重要です」とすれば、単に加わったというよりは決めていくところへ女性が加わっていくという意味が念押しされますが、どうでしょうか。

(柏木委員)

いいと思います。

(西山会長)

では、事務局、次の基本目標Ⅲを読んでいただけますか。

(矢口男女共同参画室長)

(3) 基本目標Ⅲ「家庭・地域・職場における男女共同参画」
読み上げ

(西山会長)

「家庭・地域・職場における男女共同参画」についてです。「……情報紙発行については評価したい」は「評価します」ですね。

(山田企画政策課長)

「待機児童の解消に努められた」というとゼロになったとニュアンスになるのかなと思いますが、実際まだゼロではないので「努められている」という表現がいいのではないかと思います。

(西山会長)

そうですね。ゼロに向けて努力をしているがまだゼロではないということですね。いかがですか。では、次の基本目標Ⅳに入ります。

(矢口男女共同参画室長)

(4) 基本目標Ⅳ「女性に対する暴力の根絶」の読み上げ

(西山会長)

いかがでしょうか。

(大村副会長)

小さい点ですが、「更なる」は先ほども出てきましたが、ひらがなの漢字なのか漢字なのか統一をした方がいいですね。

(染谷委員)

高齢者が 1 行でポンと出てきているので、間に何か入れてはどうでしょうか。

(西山会長)

女性への暴力の根絶の中に高齢者が出てきていますが、児童の虐待のような言葉は出てこなくて高齢者への虐待だけ取り上げているので、そのように感じるのではないかと思います。

(染谷委員)

出だしを「高齢者」とすると後も高齢者の内容なのかなと思えてしまいます。

(西山会長)

この「高齢者」を削除して、ストーカー等防止法と家庭内暴力の問題等それらの暴力の根絶としたほうがいいですね。2 次プランの中でも特に「高齢者」とは謳っていませんね。

(矢口男女共同参画室長)

24 年度事業の中で、そのような報告が上がってきていたので入れました。

(西山会長)

ただ 2 次プランには入っていないので、ここでは削除した方がいいですね。唐突な感じがあるので取りのぞくということでもいいでしょうか。

(大村副会長)

「適切な対処ができていますので、引き続き適正な・・・」と句読点の位置を変えた方がいいですね。

(西山会長)

では、基本目標 V にいきます。

(矢口男女共同参画室長)

(5) 基本目標 V 「生涯を通じた健康の促進」読み上げ

(西山会長)

これはいかがですか。

(柏木委員)

1 歳 6 か月検診、3 歳児検診などとひとつひとつ挙げる意味があるのでしょうか。

(西山会長)

具体的にですね。

(柏木委員)

出ていない検診もあります。

(西山会長)

これだけ具体的に挙げたのはなぜですか。

(矢口男女共同参画室長)

24年度事業に載っていたものです。

(西山会長)

計画に対しては、細かな検診については表記されていませんね。これはとくに充実したという意味でしょうか。

(矢口男女共同参画室長)

充実していると思います。

(染谷委員)

生涯を通じたということですから、高齢者の介護予防などもやっていると思いますが。

(西山会長)

確かにここの基本目標が「生涯を通じた健康の促進」ですが、これを見ると、子供と女性の事業については着実に実施されているけれども、高齢者に対しては出てきませんね。健康支援のようなものはやっていないのでしょうか。

(染谷委員)

やっているはずですよ。

(西山会長)

やっているなら評価していると書いた方がいいのではないのでしょうか。

(山田委員)

子供についてはどうでしょうか。触れていいのでしょうか。

(矢口男女共同参画室長)

「生涯を通じた」ということですので、入れるべきだと思います。

(青木委員)

個別の事業というよりは、「乳児健診」などと言う言葉でまと

めて「乳児健診、成人検診、高齢者に対する健康予防」と総称してはどうでしょうか。

（西山会長）

今の提案のように検診だけ細かく書くのではなく、生涯にわたるといった内容なので、「子供に対する検診、成人に対する検診、高齢者への健康支援・介護予防」などとし、そういった全体的な事業をやっていて着実に実施されていると書いた方がいいのではないのでしょうか。高齢者に対しての事業名があれば。

（水代総合政策部長）

事業名だと結構な量になります。

（西山会長）

では、「乳幼児から成人、高齢者に至るまでの各種健康への促進への支援などの各種事業」と書いてはいかがですか。その後も「母子」ですね。

（柏木委員）

「地域の」という言葉を入れたいのですが。私が地域での活動をしているので。

（西山会長）

地域での活動というのは、どういうものですか。

（柏木委員）

市から助成金をいただき、健康づくり推進協議会が活動をしているので、「地域」という言葉を入れていただきたいです。

（西山会長）

そうすると、「地域での健康づくり支援など」と入れて「母子保健に関する健康相談、両親学級、地域での健康づくり支援など幅広い年齢層に対し・・・」でしょうか。「健康」が続いてしまいますが。

（柏木委員）

これは偏ったことしか書いていない気がします。介護支援課もたくさんやっていますよね。

（西山会長）

偏った感じがしますか。

（柏木委員）

はい。健康増進課の事業しか入っていない気がします。

(西山会長)

2次プラン目標Vに入っている所管課はほとんどが健康増進課なのですね。そのプランを受けてのこう書いているのだと思います。よろしいですか。

(青木委員)

その母子保健と両親学級というところが、なんとなくそこだけテイストが違うような気がします。

(西山会長)

その前はまとめて書いたもので、特に両親学級というのは固有名詞がそのままポンときていておかしいですね。

(青木委員)

母子保健も両親学級も、全国どこの市町村でもやっていることですよね。総称で書いたらどうでしょうか。

(山田委員)

細かく書くよりも、ぼかして「健康の促進」などとしたらどうでしょうか。

(染谷委員)

あまり細かく書いてしまうと、あれも入っていないこれも入っていないということになるかもしれないですね。

(西山会長)

そうすると、「生涯を通じた健康の支援」は、乳幼児から成人、高齢者に至るまで健康の促進の支援など各種事業が着実に促進されていて、抜けていて書きたいのは、「母子」と柏木委員がおっしゃった「地域での健康づくり」でしょうか。

(青木委員)

成人と高齢者の間に「母子」を入れたらどうでしょうか。

(西山会長)

「乳幼児から成人、母子、父子、高齢者に至るまでの健康の促進への支援など各種事業が着実に実施され」ですか。

(青木委員)

父子に対しての事業は何かやっているのですか。

(西山会長)

つまりここに「母子」だけ書くとなると、父親が抜けてしまいますね。「両親学級」と書いてある意味は、父親も子供に関わるのが必要なので書かれているのだと思います。そこに、乳幼児・成人・高齢者と年齢で刻んでいますよね。ここに「母子」と「父子」と年齢で刻んでいないものが入るので、違和感がありますね。
(青木委員)

では、「・・・高齢者に至るまでの健康の促進への支援」の後に句読点を打って、母子・父子の部分を入れたらどうでしょうか。別の切り口として。

(西山会長)

そうですね。別立てにする方がすっきりしますね。「・・・健康の促進への支援、母子・父子などに対する各種事業が着実に実施され、幅広い年齢層に対し」

(廣田委員)

「地域での」を入れていないですね。

(西山会長)

「地域での」となると全くステージが違うのですよね。

(山田委員)

どこの地域でも地域活動では健康づくりをやっていますね。

(柏木委員)

「至るまでの」の前に入れたらどうでしょうか。母子・父子も地域でやりますよね。

(青木委員)

違いますね、保健センターでやります。

(柏木委員)

全部ですか。

(青木委員)

そうです。皆さん大変な思いをして初石まで行っています。育児相談は地域別でやっています。

(矢口男女共同参画室長)

「母子、父子に対する各種事業の実施、地域での健康づくり支援など」としてはどうでしょうか。

(西山会長)

そうですね。「その他地域での」としては少し乱暴ですか。この地域での健康づくりは市民がやっている健康づくりの支援ということですよ。

(柏木委員)

はい。

(西山会長)

その他にしてはどうですか。

(染谷委員)

地域というのは、地域で主催しているということですよ。地域に出てやるということですか。

(柏木委員)

はい、そうです。

(青木委員)

これは、市民によるということなのですよ。上は行政によるものですよ。その文脈だと、地域での健康づくりが行政で行われているような印象を持ちますね。

(西山会長)

そうですね。では、「各種事業の実施、その他市民による地域での健康づくり支援など、健康に関する支援の充実・・・」としたらいかがですか。では、次に行きます。

(矢口男女共同参画室長)

(6) 基本目標VI「計画を着実に進める推進体制の充実」の読み上げ

(西山会長)

ここはいかがでしょうか。

(青木委員)

「本部長を市長、副本部長を副市長」は「市長を本部長、副市長を副本部長」だと思います。

(西山会長)

ほかにございますか。

(廣田委員)

これだけを見ると、市の内部のことだけを言って終わってしまっているの、市民や他の団体と連携をしていきたいと思いますという

ところを入れてもいいのかなと思います。

(西山会長)

「プランの進行管理が着実にされていますが、より一層、市民・団体・事業者との連携を図り、協働に努めていただきたい」ではいかがでしょうか。

(青木委員)

「協働して推進に努めていただきたい」ではどうでしょうか。

(西山会長)

「より一層、市民・団体・事業者との連携を図り、協働して男女共同参画の推進に努めていただきたい」

(廣田委員)

ここに、女性職員や男性職員のことを具体的に載せるべきなのではないでしょうか。

(西山会長)

これは、地方公共団体が男女共同参画のモデルとしてがんばってほしいということで、率先して女性の管理職の登用と男性の育休の取得について念を押されているので、取ることはできません。

(青木委員)

女性職員の管理職の前に、「流山市においては」と入れてはどうでしょうか。

(西山会長)

そうですね。「なお、流山市においては、男女共同参画のモデルとして、女性職員の・・・」ではどうでしょうか。

(青木委員)

「男女共同参画のモデルとしての」ではなく、「男女共同参画社会のモデルとなるよう」がいいのではないのでしょうか。

(西山会長)

では、時間になりました。事務局から宿題となる部分について説明をしていただきます。

(矢口男女共同参画室長)

3次プランの骨格案についてご意見をいただきたいと思います。ご意見を2月13日までに事務局へお送りください。それをまとめましたものと、今日協議した答申案の前半部分をお送りします。

(山田課長)

資料3と4が事務局で考えた3次プランの骨格です。それを見て、意見欄に記入していただくようお願いします。

(矢口男女共同参画室長)

ご希望であれば、メールで打ち込めるようワードで作成したものを送ります。

(西山会長)

ご不明な点はございませんか。では、以上で第3回流山市男女共同参画審議会を終わりにします。皆様ありがとうございました。